

【課題番号】 5-1604

【研究課題名】 都市型 PM2.5 の高濃度化現象の原因解明と常時監視データ補正法

研究の全体概要

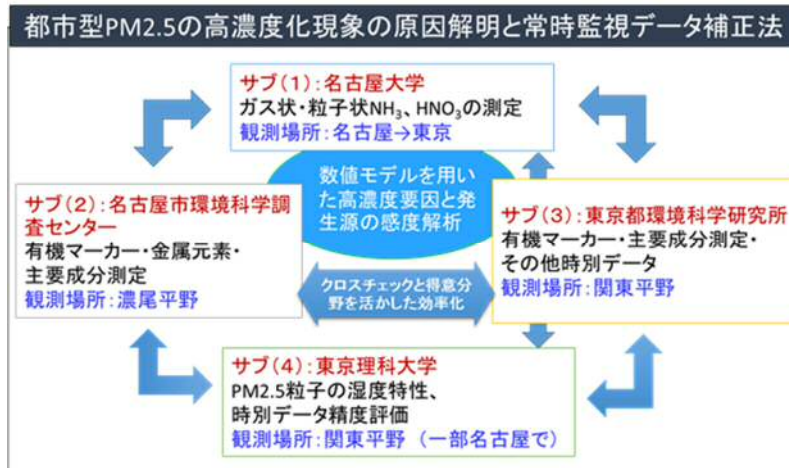
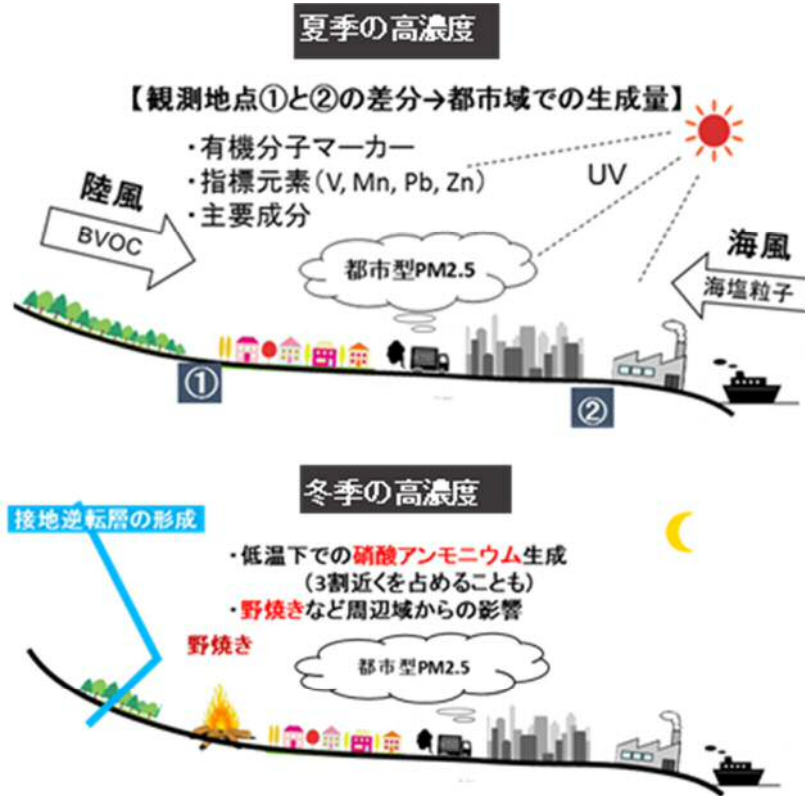
関東や東海などの大都市域では PM2.5 の年平均濃度が高く、高濃度となる要因の解明が必要とされている。しかし、都市域での二次生成や港湾部から輸送されてくる PM2.5 の実態は、未解明のままである。また、大気環境常時監視局における PM2.5 濃度の 1 時間値についても検討が必要とされている。そこで本研究では、関東平野と濃尾平野において、湾岸部と内陸部などで特別の大気観測・サンプリングを行い、有機マーカ成分や指標元素濃度のデータを取得する。また、冬季都市域での硝酸アンモニウムの形成を調べるために、アンモニア等のガス濃度も測定する。これらの観測データにより、都市型 PM2.5 高濃度現象の実態を把握し、発生源寄与割合の推計精度向上に必要な科学的知見の充実を目指す。さらに、光散乱式計測装置など非集積的な手法を用いて、湿度と粒子体積、主要化学成分との関係を把握することにより、常時監視局で測定される PM2.5 濃度の 1 時間値の解釈を補助する手法を検討する。これらの観測と解析を行うために、本研究を提案した。

研究の全体概要図

課題番号：5-1604

課題名：都市型PM2.5の高濃度化現象の原因解明と常時監視データ補正法

研究代表機関名：国立学校法人名古屋大学



- ＜3年後の達成目標(行政ニーズへの貢献)＞
- ・都市型PM2.5高濃度イベントの発生要因の解明
 - ・特別PM2.5濃度測定への準リアルタイム補助手法の提案